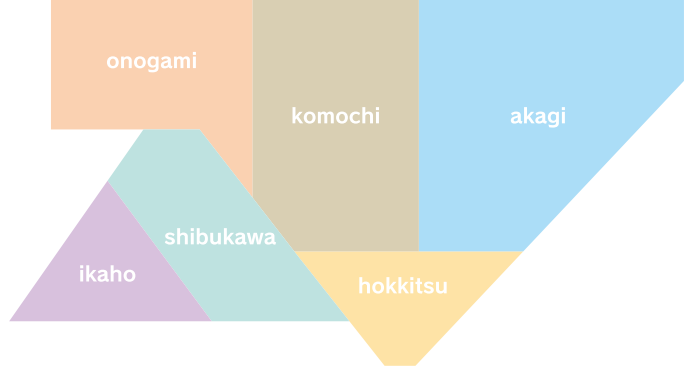


ふるさと通信 しぶかわ

S H I B U K A W A



特集 伝えたいもの・こころ

- ふらつとぶらつと「渋川市北橋歴史資料館」
- 家族キャッチボール
- トピックス
- イベントカレンダー
- あのこと「敷島駅」



深鉢 (道訓前遺跡)

2007.3

VOL

2

もの・こころ

や文化財が遺されています。
日まで守り伝えられてきた貴重な財産。
渋川の歴史とそこで暮らしてきた
触れてみませんか。



【神社・仏閣】
由緒ある
歴史を訪ねる



水澤寺六角二重塔

- 県指定重要文化財 (S48.12.24指定)
- 渋川市伊香保町水沢214

水澤寺は坂東三十三観音札所の十六番札所で、水澤観音とも呼ばれています。創建は寺伝によれば推古天皇の時代で、伊香保姫が亡夫を弔うために創建したと伝わります。境内にある六角二重塔は、江戸中期 (1688-1704) 建造といわれ、輪廻思想を形にしています。二層に大日如来を安置し、一層に六道地藏尊をまつています。全国でも数少ない回転軸をもった珍しい塔で、反時計回りに三回転させると願いがかなうといわれています。

渋川八幡宮本殿

- 県指定重要文化財 (S36.1.6指定)
- 渋川市渋川甲1

鎌倉時代の建長年間 (1249-1255) に、当時この地を治めていた渋川義頭が、鎌倉の鶴岡八幡宮を勧請したものと伝えられています。本殿はケヤキ材を使用した間口3間、奥行2間の流造り。妻部の組み、手挟み、海老虹梁、こぶし鼻、懸魚などに桃山期の特色が見られます。なかでも、菊・五三の桐・おもだか・牡丹の手挟み彫刻の文様は、他に見られない貴重なものです。拝殿と幣殿は明治末期に造られたものです。



宮田山不動寺の石造不動明王立像

- 国指定重要文化財 (S38.2.14指定)
- 渋川市赤城町宮田1526

「宮田のお不動様」と呼ばれ親しまれています。墨書によると鎌倉時代にあたる1251年に造られ、右眼を開き、左眼は半眼の一目諦視の忿怒の相で、力強くも温厚な雰囲気漂わせています。右手に智剣、左手に羂索を持ったほぼ等身大の白味を帯びた凝灰岩の丸彫で、衣紋の強い線、腕・手首・足などの珠紋帯の手法に鎌倉期の特徴が見られます。現在は不動寺境内の絶壁の洞穴に安置され、1月28日の縁日に御開帳されます。



主な重要文化財 (上記以外)

名称	所在地	指定名	指定日
① 石造笠卒塔婆	石原1361	国指定重要文化財	S28.8.29
② 空恵寺の山門	上白井3958	県指定重要文化財	S30.1.14
③ 真光寺の木彫狛犬・洪鐘	渋川748	〃	S27.11.11
④ 雙林寺の長尾昌賢木造	中郷2399	〃	S30.1.14
⑤ 勝保沢の十一面観音堂	赤城町勝保沢甲99	市指定重要文化財	S56.5.1
⑥ 源空寺の梵鐘	白井865	〃	S58.6.27
⑦ 菅原神社本殿	中郷1733	〃	S61.5.6
⑧ 岩井堂観世音御堂	村上13	〃	S51.5.24
⑨ 湯中子大山祇神社本殿	伊香保町湯中子941	〃	S55.9

水澤寺住職

伊香保町水沢在住 山本 徳明さん

六道地藏尊と大日如来を安置している水澤寺の六角堂は、現世利益だけではなく来世、来世という長い目でみた開運を祈っています。仏教の世界観をすべて表した壮大な考えに基づいて建設されたお堂なのです。また、建立された当時から回転式の構造を一度も修復していません。全国にも回転式のお堂はありますが、実際に回せる所は少ないようです。多くの参拝者が回して下さったことで300年以上を経た現在でも回すことができるのかもしれない。

特集 伝えたい

渋川市には、数多くの史跡
長い歴史のなかで生まれ、育まれ、今
これらの史跡・文化財から、
先人たちのところに

かみみはらだ

上三原田の歌舞伎舞台

- 国指定重要有形民俗文化財 (S35.6.9指定)
- 渋川市赤城町上三原田乙269-1

全国に例を見ない特殊な機構をもつ上三原田の歌舞伎舞台は、上方で修業した永井長治郎が文政2年(1819)に赤城山天竜寺境内に建築し、明治15年(1882)に現在の地に移築したと伝えられています。三方の板壁を外側に倒して舞台を広げる「ガンドウ返し」、舞台の奥に背景をつけ奥行きを深く見せる「遠見」、平舞台いっぱいを回転させる「廻転」、小舞台を天井・奈落の双方から上下させる「二重セリ」の4つの特徴があります。特に「二重セリ」は日本で唯一の機構です。



村上太々神楽

- 市指定重要無形民俗文化財 (S51.5.24指定)
- 渋川市村上135

享保4年(1719)に作間神社が火災のため焼失し、社殿を新築した祝典に太々神楽を奉納したのが始まりといわれています。明治時代に中断しましたが、終戦後復活の気運が盛り上がり、昭和28年(1953)に衣装、道具一式を新調して作間神社太々神楽奉仕会が発足しました。現在は村上太々神楽保存会が中心になって、4月3日の作間神社祭典奉納をはじめ、温泉まつり、文化祭等の出演を通して地域振興、伝統芸能の保存に努めています。

川島の獅子舞

- 市指定重要無形民俗文化財 (S47.10.20指定)
- 渋川市川島1287

古くから川島の諏訪神社に奉納されてきた神事で、雄獅子・雌獅子・子獅子と添役に天狗やおかめが加わり、謡方の構成で演じられます。昔から農家の長男が継承し、11、12歳になると獅子舞を習得し奉納してきました。明治時代に中断し消滅寸前になっていましたが、飯塚金蔵氏の記憶により再興しました。昭和中期までは主として諏訪神社へ奉納されていましたが、現在は10月9日の甲波宿禰神社の祭典で両社に奉納されています。



【民俗文化財】 伝承される 芸能を観る

伝統芸能カレンダー (上記以外)

行事名	日程	場所
① 猿田彦神社の大和神楽	第2庚申	猿田彦神社(石原753)
② 下南室太々御神楽	4月第1日曜	赤城神社(北橋町下南室310)
③ 中尾獅子舞	4月第1日曜	浅間神社ほか(村上2641-1)
④ 上小野子獅子舞	4月第1日曜	七社神社(小野子2158-1)
⑤ 八木原諏訪神社の太々神楽	4月12日	諏訪神社(八木原568-3)
⑥ 箱田獅子舞	4月第2日曜	木曾三柱神社(北橋町箱田776)
⑦ 行幸田の獅子舞	4月第3日曜	甲波宿禰神社(行幸田749)
⑧ 勝保沢の太々神楽	4月29日	勝保沢諏訪神社(赤城町勝保沢甲644)
⑨ 神明宮太々神楽	5月1日	子持神社(中郷443-4)
⑩ 三原田の獅子舞	8月27日	興禅寺/八幡宮(赤城町三原田内)

※全て市指定重要無形民俗文化財

コメント

上三原田歌舞伎舞台 操作伝承委員長



赤城町上三原田在住
須藤 明義さん

舞台機構を操作するには最低80人が必要で、それも舞台の構造や演目内容をよくわかっていないとできません。舞台

の絵を描くのも小屋掛けもみんな地元の人がやるんですよ。その技術を伝承するために平成6年に伝承委員会が発足し、毎年舞台まつりを行っています。しっかりと次世代に引き継いでいきたいですね。今年は全国各地芝居サミット(ぐんま芝居サミットin渋川、11月24、25日)をこの舞台でやるので、それに向けて頑張っています。

もの・こころ



敷島のキンメイチク

- 国指定天然記念物 (S28.11.14指定)
- 渋川市赤城町津久田313-3

八幡宮境内に約100本^{そろうせい}叢生しているキンメイチクは、マダケの変種で、節間の枝の生じた部分に黄金色の縦縞が現われる珍しいものです。縞は交互に枝の末までつき、雨に洗われた後などは緑と黄金色の対比が美しく夕陽に映えます。日本の竹は約60年毎に花を咲かせ、その後一斉に枯れてしまうことがあります。このキンメイチクも昭和43年に開花した後絶滅に直面しましたが、関係者の尽力により回復し、今の美しい姿をとどめています。

金蔵寺のシダレザクラ

- 県指定天然記念物 (S27.11.11指定)
- 渋川市金井甲1965

金蔵寺境内にあります。根元周り6.2m、目通り周り3.4m、枝張り東西17m、南北14m、シダレ枝の最長5m、樹高は12m、樹齢は400年以上です。シダレザクラには紅と白の花がありますが、金蔵寺の桜は白色です。



毎年、見事な花を咲かせては、境内を白色に霞ませ、人々の目を楽しませています。このサクラの花が咲くころ、里芋を植えたことから、地元の人からは「芋種桜」と呼ばれています。

双林寺の大カヤ・千本カシ

- 県指定天然記念物 (S27.11.11指定)
- 渋川市中郷2399

寺庫裏の東にあるカヤは、根元周囲6.4m、目通り約6m、高さ約27m、枝張り東西18.5m、南北20.6mの巨木です。文安4年(1447)に開山した月江正文が持参した数珠の一粒から実生したものと伝わり、どの実にも糸を通したような小さな穴があることから、「開山のつなぎカヤ」として双林寺の七不思議の一つとされています。

本堂の裏にあるカシは、根元は1本に結合していて、その株から10数本の支幹が叢生しています。支幹は1m以上が8本、以下が6本、全体の根元の周囲は約7.5m、全体の高さは約12mあります。一つの古い株からひこばえが出て生育したものとわれ、その生え方から双林寺の七不思議の一つとされています。



▲大カヤ



▼千本カシ

【天然記念物】

銘木・古木の年輪に触れる

主な銘木・古木 (上記以外)

名称	所在地	指定日
① 桜森のヒガンザクラ	赤城町津久田313-3	S26.10.5
② 大山祇神社の大フジ	横堀乙992	S27.11.11
③ 藍園墓地の大ケヤキ	渋川2814	S27.11.11
④ 早尾神社の大ケヤキ	中村31	S27.11.11
⑤ 下郷の大クワ	渋川1274	S30.1.14
⑥ 溝呂木の大ケヤキ	赤城町溝呂木168-1	S43.5.4
⑦ 祖母島のキンモクセイ	祖母島680	H2.9.25

※全て県指定天然記念物

コメント 金蔵寺住職



金井在住
浜田 孝暁さん

400年以上前、現在の場所にお寺を移築したときに対で植えたそうです。残念ながら1本は伊勢湾台風で折れてしまいました。残った木も花の付きが少なくなったため、3年ほど前に樹木医に治療してもらい、また見事な花が咲くようになりました。植物も話しかけると良いと聞き、「きれいだね」「見事な花を咲かせてくれてありがとう」と話しかけているんですよ。それからは花の付きや濃さがぜんぜん違いますね。

ぼうがいと 房谷戸遺跡出土品

●国指定重要文化財（H3.6.21指定）
●渋川市北橋町八崎出土 群馬県所有
昭和62・63年に関越自動車道の工事に先立ち、房谷戸に所在する縄文時代中期前半の集落跡の発掘調査が実施されました。発掘現場からは、東関東を中心とする阿玉台式土器、西関東を中心とする勝坂式土器と一緒に出土し、それらの地域に交流のあったことが分かりました。表土に火山灰や軽石が堆積していたため完全に近い形で発見され、その成形や文様がすばらしいことから10点が国指定重要文化財となりました。



くろいみね 黒井峯遺跡

●国指定史跡（H5.4.2指定）
●渋川市北牧ほか

吾妻川左岸の台地上にある黒井峯遺跡は、6世紀中ごろの古墳時代の集落遺跡です。榛名山ニッ岳付近の噴火による厚さ2mの軽石の下に、当時の集落がそのまま埋もれていたため、イタリアのポンペイ遺跡に匹敵するといわれています。軽石層が古代の地表面や建物を

を長い年月保存していたことにより、貴重な情報が数多く残されていました。この遺跡の発見によって今までは分からなかった古墳時代の集落の姿が明らかになりました。



なかすし 中筋遺跡

●県指定史跡（H4.5.15指定）
●渋川市行幸田796ほか
渋川市所有

今から約1,500年前、榛名山の大噴火の火砕流により、一瞬にして埋没してしまった古墳時代中期の集落跡です。厚さ約1mの火山灰に覆われていたため、竪穴住居、平地建物、畑、垣根、祭祀跡などの遺構がほぼ完全な形で残されました。現在、竪穴式住居3軒、平地式住居1軒、平地式住居木組1カ所、垣根、祭祀跡などが復元され、住居内を見学することができます。



【遺跡】 古代の息吹を感じる

主な遺跡・史跡（上記以外）

名称	所在地	指定名	指定日
① 瀧沢石器時代遺跡	赤城町滝沢、見立ほか	国指定史跡	S2.4.8
② 虚空蔵塚古墳	渋川1123	県指定史跡	S27.11.11
③ 中ノ峯古墳	北牧乙1596	〃	S55.4.30
④ 長井坂城跡	赤城町棚下/昭和村川瀬	〃	S55.9.16
⑤ 小室敷石住居跡	北橋町小室560-1	〃	S42.11.24
⑥ 金井製鉄遺跡	金井1343	〃	S50.9.5
⑦ 八木沢清水縄文時代住居跡	小野子756-3	〃	S58.2.22
⑧ 三原田諏訪上遺跡・瓦塔設置仏教遺構	赤城町三原田166	〃	H15.3.25

コメン ト 黒井峯遺跡発掘に携わった



北牧在住
石井 禮子さん

発掘作業をお手伝いしましたが、掘っていると土器や住居跡や小さな畑の跡がどんどん出てくるので毎日が感動でした。

日本中から研究者や見学者が訪れ、アドバルーンを揚げたり出店が出たりとにぎやかでしたよ。20年も前なのに昨日のことに思い出します。すごい発見だということで、近くにアパートを借りて毎日取材にきていた新聞記者もいました。黒井峯遺跡のおかげで子持村(当時)に住んでいるのを誇りに感じましたね。

渋川市北橋 歴史資料館

ふらっとびらっと

貴重な縄文式土器など 郷土の歴史を豊富に展示

「たちはなの郷公園」内にある北橋歴史資料館。豊富な展示品により北橋地区の歴史に触れることができます。旧石器時代から現代までの歴史の移り変わりがわかる常設展示室には、国内外から高い評価を受けている道前遺跡出土の縄文式土器(表紙写真)も展示されています。長野県東部と関係の深い焼町土器、新潟県の火焔形土器の影響を強く受けた土器、勝坂式土器、地元で生まれた三原田式土器など、その装飾の素晴らしさから道前遺跡の出土品は、県指定重要文化財になることが決まりました。公園内には実物大に復元された縄文住居があり、新鮮な野菜や加工品が並んだ特産物直売所も隣接しています。また、近くには桜の名所として知られる佐久発電所があり、散策コースも整備されています。



常設展示室



外観

開館時間 ■ 午前9時～午後5時
 入館料 ■ 大人200円、高校・大学生等100円
 中学生以下無料
 休館日 ■ 月曜日(祝日を除く)
 祝日の翌日(土・日曜日を除く)、
 年末年始(12月28日～1月4日)
 その他特に定める日
 問合せ ■ 渋川市北橋歴史資料館 TEL0279-52-4094
 アクセス ■ 関越自動車道渋川伊香保インターから車で15分
 JR渋川駅から市営バス真壁行き15分、歴史資料館前下車



隣接する特産物直売所



縄文住居

TOPICS

ふるさと渋川のホットな話題・とっておきの情報を満載!

盛大に合併を祝いました
 ～開市式を開催～

11月11日、新「渋川市」の誕生を記念して開市式を開催しました。地元で活躍する3団体による太鼓演奏会に続いて行われた式典では、市章の披露や合併功労者の表彰のほか、渋川市出身のソプラノ歌手森永一衣さんによるコンサートが行われました。



未来にはばたく
 「新渋川」の「新成人」

1月7日、渋川市民会館で「新渋川☆新成人」未来は我らの双肩に」をテーマに成人式が開催されました。合併後初の成人式には、合併した全地区の新成人約900人が一堂に会し、旧友たちと祝い、喜びあいました。



銀盤の上の熱い戦い
 ～冬季国体開催～

1月27日～31日、第62回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会が群馬県で開催されました。群馬県立総合スポーツセンター・伊香保リンクでは、スピードスケートと成年男子のアイスホッケー競技が行われ、熱戦が繰り広げられました。



伊香保で暮らすお母さんへ

お正月は、家族でお邪魔させて頂き、大変お世話になりました。最近、ますます暴れん坊になってきた息子(優)に手を焼く日々。育児に悩んだ時は、お母さんが近くに来てくれたらなあ〜とつくづく思います。

お母さんは、旅館の女将さん^{おかみ}をしながら、3人の子どもを育てたのだから、本当に尊敬します。

私もお母さんのように、強くて優しい母になれるように頑張ります。優もおばあちゃんが大好きです♪

それでは、まだまだ寒い日が続きます。お体に気を付けて、また会える日を楽しみにしています。



東京都東村山市在住
薮野 智恵子(やぶの・ちえこ)さん
 優 (ゆう)ちゃん

Catch Ball

家族キャッチボール

離れて暮らしていても家族は家族。
 「手紙」というボールに思いを込めて。

伊香保町伊香保在住
橋本 廣子(はしもと・ひろこ)さん



東京で暮らす娘へ

お手紙ありがとうございます。

お正月は、お手伝い頂きありがとうございます。また頼もしい成長の優君に会えてうれしかったです。

伊香保祭りの日に生まれ、体全体で表現するお祭り大好きな優君。今年は3歳になるので、お祭りの支度を用意して、一緒にお出かけできることを、楽しみにしています。

子どもは親の背中を見て育ちます。立派に育てている二人にエールを送ります。体に気をつけて、しっかり家庭を守り、子育てしてください。

お母さんも体を鍛えます。

また、実家に遊びに来ることを楽しみに待っています。

EVENT CALENDAR イベントカレンダー 2007



夏



春

- ふれあいフェスティバル (4月7日(土)・北橋地区)
- 桜の名所として有名な東京電力佐久発電所で、桜の開花に合わせてさまざまな催しを開催します。
- 小野上温泉まつり (4月上旬〜4月29日(日)・小野上地区)
- 4月上旬から各種イベントを開催する小野上温泉まつり。29日のメインフェスティバルでは、歌謡ショーなどが行われます。
- 白井宿八重さくら祭り (4月29日(日)・子持地区)
- 白井宿の水路沿いに植えられた満開の八重桜のもと、勇壮な武者行列が行われます。
- あじさいまつり (6月中旬〜7月下旬・渋川地区)
- 小野池あじさい公園のアジサイが見ごろとなります。7月中旬までの夜間はライトアップされたアジサイが楽しめます。
- ブルーベリー狩り (6月下旬〜8月上旬・赤城地区・子持地区)
- 近年人気上昇中のブルーベリー狩りは、関越自動車道・赤城インターチェンジ周辺などで体験できます。
- 第20回たびの日は感謝デー (7月2日(月)・伊香保地区)
- 伊香保温泉で年に1度、お客様に感謝して行うイベント。宿泊料が割引になるほか、歌謡ショーなどが行われます。
- 渋川へそ祭り (7月27日(金)〜28日(土)・渋川地区)
- おなかに顔を描いて「へそ出せヨイヨイ」と踊るユニークなへそ踊りが見物です。
- 第11回伊香保ハワイアンフェスティバル (7月30日(月)〜8月2日(木)・伊香保地区)
- 日本各地からフラダンス愛好者が集まるハワイアンの祭典。本場ハワイのフラダンスチャンピオンによるメリーモナークショーは必見。
- 「ちねばな古里まつり」 (8月5日(日)・北橋地区)
- 地元の中学生が日本武尊(やまとたけるのみこと)と弟橘姫(おとちねばなひめ)に扮して古代行列を行います。クライマックスの花火大会は渋川随一の規模です。
- 伊香保まつり (9月18日(火)〜20日(木)・伊香保地区)
- 伊香保温泉の石段街を十数基の樽みこしと巨大な本みこしが上り下りします。みこしが石段を上る姿は圧巻です。

敷島駅は、上越線の渋川―沼田間が開通した大正13年(1924)3月31日に、沼田駅、岩本駅と共に開業しました。昭和22年(1947)には上越線の全線が電化され、さらに同42年(1967)の複線化によりスピードアップし、敷島駅の利用者も地域の住民だけでなく子持山の登山客も見られるようになりました。また、昭和20年代後半からはブロック建築の需要増加により、その材料となる軽石の出荷が飛躍的に増え

ました。昭和31年ごろには最盛期となり、駅前には運送業をはじめ商工業者が集まり商店が立ち並びにぎやかな通りとなりました。しかし、車社会の到来と共に列車離れに拍車がかかり、昭和60年には無人化(渋川駅の職員1名が勤務)が決り、平成16年(2004)には岩本駅と共に完全な無人駅となりました。



建て替えられる前の敷島駅(平成12年頃)

平成15年(2003)に建て替えられた駅舎は、黄色いアーチが印象的なモダンな建物です。駅前には道路と歩道の段差がなく、駅全体がバリアフリーになっています。また、駅構内の公衆トイレは「景観に調和し、デザインに優れているトイレ」として、群馬県が創設した「公衆トイレ認証事業」で初の「特別認証」を受けました。歩いて10分程のところに敷島温泉の日帰り温泉施設があり、温泉を訪れる人の最寄駅になっています。



現在の敷島駅



駅構内の公衆トイレ

あ の こ ろ を 語 る

荒井商店々主

荒井一夫さん(43)

先々代が大正11年におまんじゅうを売る店を出して以来、駅前で菓子店を営んでいます。駅舎が建てられた大正13年ごろは、今のようには重機もなく、現場ではたくさんの方が働いてお餅が売れたようです。国鉄時代は10人前後の駅員がいて構内に官舎がありました。駅前通りには桜の木が植えられていて桜の咲くころはきれいでしたね。子どもたちは駅前広場を庭がわりに遊びましたから、駅舎が建て替えられた時は寂しかったですね。



編集後記

昨年カナダで開催された「日本展」に、表紙に掲載した土器が日本の代表的な土器の一つとして出品されました。この「ふるさと通信」も海外で活躍する渋川市出身者に届けられています。形は違っても、市の宝物を広く紹介できたことを誇らしく思っています。

読者の皆さんからのお便りをお待ちしています。

誌面を読んでの感想、渋川の思い出、近況など、お手紙・Fax、Eメールでお寄せ下さい。